

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	皮膚悪性黒色腫における CRKL 遺伝子の発現解析
当院の研究責任者 (所属)	柳 輝希 (琉球大学大学院医学研究科皮膚科学講座)
他の研究機関および 各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	悪性黒色腫は色素細胞（メラノサイト）が癌化した腫瘍であり、日本における悪性黒色腫の新規発生は増加傾向である。特に手足などに生じる末端黒子型が40.4%と最も多いが有効な治療法が少ない。CRKL 遺伝子は細胞増殖や浸潤など腫瘍増殖および転移に関与しているといわれ、大腸がんや悪性血液疾患などで報告が多い。近年、末端黒子型悪性黒色腫においても10%以上でCRKL 遺伝子の増幅が確認され、本病型に特異的な遺伝子変化であった。このため、CRKL 遺伝子発現の有無を予後予測因子や治療標的として考慮しえると推測されるが、末端黒子型黒色腫の前臨床モデルは数種類に限られ、臨床検体を用いた研究は乏しい。このため、悪性黒色腫臨床検体におけるCRKL タンパク質発現と生存期間について統計学的に解析をおこなう。また、CRKL 遺伝子の発現と関連しているといわれるCRK 遺伝子、HOXB13 遺伝子についても免疫染色を行う。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2027年3月31日
調査データ(該当期間)	2011年4月～2025年3月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま 2011年4月から2025年3月までの間に琉球大学病院皮膚科に通院（または入院）した18歳以上で悪性黒色腫の皮膚腫瘍の患者を対象とする。ただし、そのほかの合併症や治療経過により、担当医が不適切と判断した患者様は除く。また、本研究の目標症例数は15年間で140例である。</p> <p>●利用する試料・情報 臨床写真、手術時に切除して冷凍保管している組織。またはパラフィン包埋検体として保管されている組織。組織に対してCRKL 遺伝子、CRK 遺伝子、HOXB13 遺伝子について免疫染色を行う。研究対象者の背景情報（年研究対象者の背景情報（年齢、性別、初診日、診断日、最終受診日、全生存期間、死亡有無、診断名、発症時期・病歴、治療歴）、手術関連情報（手術形式、麻酔、腫瘍径、腫瘍部位、病期治療法）、入院有無、病理組織学的検査結果、画像検査結果（ダーモスコピー、CT）。</p> <p>●利用する者の範囲 琉球大学皮膚科単一機関の探索的研究である。</p>

<p>試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法</p>	<p>提供予定なし。</p>
<p>試料・情報の二次利用</p>	<p>なし。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>この研究に参加した患者から提供された情報、検体は、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理し（匿名化）する。番号を結びつける対応表は、琉球大学大学院医学研究科皮膚科学講座において厳重に保管し、外部機関へ提供されない。この研究が正しく行われているかどうかを確認するために、琉球大学の人を対象とする医学系研究倫理審査委員会などが対象患者のカルテや研究の記録などを確認する場合がある。このような場合でも、これらの関係者には記録内容を外部に漏らさないことが法律などで義務付けられているため、対象患者の個人情報は守られる。この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることがあるが、名前などの個人情報に関することが外部に漏れることは一切ない。また、同意の範囲外において情報の利用を行わない。</p> <p>個人情報管理責任者は皮膚科学講座・技術専門職員 仲村綾子である。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究は、研究責任者が所属する診療科の研究費(寄附金・委任経理金武)で実施するため私的な研究資金は受けておらず、開示が必要な利益相反はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話：098-894-1427 担当者：柳 輝希（皮膚科）</p>
<p>備考</p>	